

令和4年度 家庭教育学級 開催のご報告

早春の候、PTA会員の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
2月10日に『家族の夢をかなえよう！「おこづかいからはじめるチーム戦略！」』をZoomにて開催いたしました。講師には亀谷さおり先生をお招きしました。
おこづかいをきっかけに、子どもたちはどう成長したのか。そしてご家庭での始め方、続け方のコツなど、具体的なエピソードを交えてお話いただきました。

【講師の紹介】

家族をつなげるお金の専門家 亀谷さおり先生

愛知県出身。夫と3人の子どもたちの5人家族。

都市銀行に約15年勤務し、外国為替や金融商品の事務・営業を担当。

転職し、現在は親子向けおこづかい教室、子育て世代向けのマネーセミナー・個別相談を行う。金銭教育と個性心理学を取り入れた子育てを実践中。

一般社団法人 familead 副代表

一般社団法人 ライフキャリア・パートナーRAIL 代表理事

FPmama Friends・個性心理学 認定講師

日本 FP 協会 CFP®

講座内容

① おこづかいはじめてどうなった？

『これ買って』と言わなくなる。

自分が大事にしたいものができるようになる。

『おうちの中にある大事なお金』という意識が出てくる。

② 『見守る』ことから見えてくるもの

『見守る』=口出しをしない。自由にさせる。

→見守ることで、子どもの新たな一面を発見。子どものことが(自分のことも)見えるようになる。

金銭教育【見守る】×個性心理学【みとめる】=あきらめる【あきらかにみとめる】

→相手を見とめることは、自分を知ることにも繋がる。

③ どうはじめる？継続のコツは？

◆まずお金の役割を知る

(1) 交換する (2)ためておく (3)価値を決める

※価値のあるもの=価格が高い

※ありがとう！うれしい！助かる！=価値が高い

◆お金の大切さを伝える ※おこづかいを始める前&タイミングを見ながら伝える※

(1) おうちのお金は「ありがとうの証」

お金⇄価値【ありがとう！うれしい！助かる！】

おうちにあるお金は、働いて得た大切なもの

(2) お金は使ったらなくなる！

ニーズ【必要なもの・無いと困るもの】&ウオツ【あったらうれしいもの・欲しいと思うもの】

↑お買い物上手になる魔法の言葉

(3) お金では買えないものがある！

価値を決められないもの、世界に一つしかないもの、無くなってしまったらこまるもの

例)時間、健康、信頼、家族、友達…

◆おこづかい、どうはじめる？その1

| | 定額制 | 報酬制 | 都度制 |
|-------|--|---|---|
| メリット | 計画を立てやすい | 働く経験になる | — |
| デメリット | 何もせずお金が手に入る (感謝の気持ちが薄れる) | お手伝いがお金の為になりがち | いつでもいくらでも お金が手に入る (管理が必要、経験値が上 がらない) |
| ポイント | <ul style="list-style-type: none"> • お手伝いとお金は切り離す • お手伝い=家族の役割 • お礼は愛情表現で | <ul style="list-style-type: none"> • ルールを決める • 任せる仕事を限定する • 頻度、出来栄を決める ※仕事の対価としてお金をもらう | |

※迷ったら定額制がオススメ

◆おこづかい、どうはじめる？その2

例)テストで100点とったら、100円？

→勉強は自分でするもの。勉強や生活習慣は、お金とは直接結び付けない。

◆継続のコツは？

みんなはいくらもらってる？

| | |
|-----|----------------------|
| 小学生 | 850円～1,000円 ※最頻値500円 |
| 中学生 | 2,500円 ※1,000円 |
| 高校生 | 5,000円 ※平均・最頻値共 |

・いつから？ いつからでも！興味を持った時が一番！

・月にいくら？ 普通の「ウオツ」の金額から逆算 親子で決める！

・何をかう？ まずは「ウオツ」！慣れてきたら「ニーズ」も！

・お金の管理 おこづかい帳やコインケースを活用。もらったら、使ったら、すぐに記入。

※目的は「使ったら減る」ということを理解すること。

④ おこづかい、その先に育まれる力

子どもの金銭感覚や生きる力が身に付くだけでなく、家族のチーム力も向上！さらに、家計にもプラスに。

《質疑応答》

Q1：おこづかいを使い切ってしまうが、貯金など意識をさせた方が良いか？

A：そのまま見守る。自然に「貯金」を意識するようになる。

おこづかいで何を買うのか？(ルールの確認)お年玉や高額のおこづかいを活用。

Q2：お友達とお出かけのときのお金について。その都度渡しても大丈夫？渡した分だけ使い切ってしまう。

A：基本は自分のおこづかいから。渡す場合は、なぜその金額を渡すのか理由を伝え、何に使ったのかを必ず報告させること。

Q3：投資をさせてみたい。どのように進めていけばよいか？

まずは、おこづかいでのやりくりをしっかりと。

「お金の流れ」が理解できるようになると、

→社会の関わりに関心を持つようになる→投資行動へつながる

●講演後のアンケートでは、よい学びになったとのご感想をたくさんいただきました。

エピソードがたくさん盛り込まれた内容だったので、家庭でも参考に取り入れたい、という声を多数いただきました。

アンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。